

いいまち 議会だより

2022年10月15日

第100号

発行：長野県飯島町議会



100号突破記念特集 第1回

いいじままち 議会だよりは こうして誕生した



議会HPはこちらから
YouTubeでも配信中

写真／議会広報委員会
初代広報委員長 森岡一雄氏



いいまち 議会だよりは

平成10年(1998)4月に創刊した「いいじままち議会だより」は、
だった森岡一雄さんと高坂俊雄さんに、当時の思い出話や苦労話など
を継承しつつも、町民に分かりやすく、読んでもらえる議会だよりの



森岡一雄さん(上ノ原)

片桐 発刊に至った経緯と当時の様子はどうですか。

森岡 町民に議会について正確な内容を伝える義務がある、理解をいただきたいとの思いが強かった。また、県内の市町村でも議会報の発行が始まった時期でもあり、周りの市町村より先駆けての試みでした。

すべてが手探りでした。研究委員会を立ち上げ情報収集・研究に入り、その後議会報委員会を設置。すでに発行をしていた佐久市・信州新町へ視察に行き、議会報のイロハを教わり持ち帰りました。

素人が編集したものをいきなり町民の皆さんに見ていただくわけにはいかず、創刊号

を発行する前に「0号」を作成し議会内で意見を持ち寄りました。

当時は、パソコンはもちろんなく、印刷会社から渡された原稿用紙に収集した記事を手書きで書きこみました。

た。デジカメもなくフィルムカメラであったため、シャッターチャンスをじっと見極め、写真1枚とるに1日がかかりでした。その後も、松本・長野・東京へと視察・研修を重ねました。

高坂 正確に伝えるために、原稿チェックは厳しく行いました。なかなか議員の思いが強くて、言ってもいないことやなかった答弁があって、苦労しました。原稿を返すこともありました。

片桐 100号発行を迎えましたが、どうお感じですか。

森岡 100号まで続

くとは夢にも思いませんでした。いつの時代も「正確な内容を伝える義務、理解を深めたい」との思いは変わらなかったことと思う、その結果が100号までつながれている証だと感じます。

続けて貫ってありがたいという思いです。



高坂 町民に町や議会の様子を伝えることは今後も続けてほしい。町政要覧の記念号はいつまでも取ってあります。こうしたものをつくってほしい。



こうして誕生した

今号で100号になりました。そこで、創刊号で編集委員をお勤めをお聞きしました。現在の広報委員は創刊当時の原点に戻り、思い為に、改良改善に努めてまいります。



高坂俊雄さん（新田）

片桐 未来の飯島町についての思いやお考えは。

高坂 町民が平和で安心して暮らせる町、福祉の増進が行き渡った町。また基本構想からブレない芯の太い町づくりを行ってほしい。

森岡 どの地域も人口減少課題はある。「仕事の無いところには人は集まらない」。観光は一時的なもので、本当の

人口増に繋がるか、懸念があります。何か知恵を絞る必要があります。

高坂 財政の事も見据え、単純な企業誘致ではなく本社、もしくは本社機能を持った企業の誘致も大切な観

点と考えます。固定資産税では段々目減りする。法人所得税が取れることが重要です。

森岡 合併論議が再度必要になる時が来るかもしれない。近隣市町村と連携した地域づくりを行う中から、魅力ある飯島をつなぎ、磨き上げてほしい。

議員定数の削減が話題になっているようだが、機能的に

最低限の人数は必要です。人口が減ったら議員を減らすというのは、本末転倒。慎重に検討してほしい。



創刊号当時の編集委員

委員長／森岡一雄

副委員長／熊谷初男

委員／宮下岩男 高坂俊雄

富永 明 桃沢あや子

満沢 集 北原武男



100号特集 今後の掲載予定

20年後・50年後のまちの未来

・101号(小中学生インタビュー)

・102号(子育て世代インタビュー)

議会だより 5号 広報コンクールで 優良賞を受賞

「いいじままち議会だより第五号」は平成一一年度県町村議会広報コンクールで優良賞に選ばれました。第五号は、新しく選ばれた編集委員が、作業に慣れるために、新旧の委員で編集したものです。受賞は、「読みやすく、わかりやすい文章と写真の効果的な活用」が評価されたものです。町民のみなさんに親しまれ、読まれる議会だよりをめざしてまいります。



編集会議

平成11年度 県町村議会報コンクールで優良賞受賞の記事

令和3年度の人事は異常だ。だが職員は頑張った。

9月定例会は9月2日から15日までの14日間開かれ、条例2件・令和3年度決算6件・令和4年度補正予算6件・契約2件・請願陳情2件・選挙管理委員の選挙・発議2件などが審議された。(評決結果はP10参照)

開会日

9/2

- ・一般職の任期付職員採用ができる条例の可決。
- ・議会議決に付す公の施設に飯島町学校給食センターを加える条例の可決。
- ・令和3年度6会計決算審査を決算特別委員会に付託。
- ・令和4年度6会計補正予算を予算特別委員会に付託。

最終日

9/15

令和3年度決算6件

決算特別委員長報告の後、討論採決。

- ・一般会計 賛成多数で認定

討 論

反対 人事異動に違和感があり、職員不足で無理があった。

賛成 コロナ禍でも適確に運営した。

- ・3特別会計と2事業会計
全会一致で認定

令和4年度補正予算6件

予算特別委員長報告の後、討論採決。

- ・一般会計補正(第4号)
賛成多数で可決

討 論

反対 柏木運動場の住民説明や将来負担に懸念がある。

賛成 柏木運動場の設計調査であり、説明資料になる。補正にある農家支援事業の早期実現を期待する。

- ・3特別会計と2事業会計
5会計事業全会一致で可決

請願陳情

- ①森友公文書改ざん問題、国会で真相究明を(陳情)
賛成少数で不採択
- ②不登校児童生徒に多様な学習機会確保の経済的支援制度を(請願)
全会一致で採択

発 議

- ①不登校児童生徒に多様な学習機会確保の経済的支援の意見書
全会一致で採択
- ②安倍元首相の国葬の中止の意見書
賛成少数で不採択

選挙管理委員選挙(敬称略)

- ・委員(順不同)
羽生 綾子(飯島)
平澤 完治(田切)
藤井 康富(本郷)
畠中 恭子(七久保)
- ・補充員(補充順*)
中塚 実(田切)
茅野 理也(飯島)
佐々木 孝司(本郷)
仲田 昌弘(七久保)

*委員に欠員が生じたとき補充順に委員となる。

令和3年度財政健全化指数

- ・実質赤字比率 黒字
- ・連決実質赤字比率 黒字
- ・実質公債費比率 9.0%
- ・将来負担比率 52.4%
- ・財政力指数 0.39
- ・経常収支比率 74.3%

町税は固定資産税などの減少がみられたが、地方交付税や普通交付税の追加などで歳入歳出ともに過去最大であった。

その結果健全化指数の大幅な改善が見られたが、楽観はできない。一過性の歳入が含まれることに注視が必要。

本多代表監査委員意見

不用額が大きく出ている。年度内に把握し、住民要望実現を図ることを要望する。

下平町長決算報告

第6次総合計画のスタート年として、計画に掲げた8つの基本構想と重点プロジェクト「飯島町環境循環ライフ構想」・「人口増対策事業」を根幹に据え、一般会計、特別会計などを含め、概ね予算執行方針に基づいた計画通りの行財政運営ができた。

71.5
〈66〉↗

〈 〉は前年度

町議会議員が決算を(良い・少し良い・少し悪い・悪い)で評価し
点数に変換しました。(回収率100%)

〈 〉内は昨年評価点、()は各コメント者の評価点

財政運営

町の財政は健全化指数では健全を示す。
経常収支比率の改善がみられるが、財政
規模がコロナ禍で拡大したためで注視を。4.1
〈3.4〉↗

1. 健全化指数(最高点5)

- ・前年度に続き安定しており評価(4)
- ・県内市町村内で高い数値(2)

4.2

2. 実質収支の動向(最高点5)

- ・黒字決算を評価(4)
- ・バランスが良い(4)

4.2

3. 経常収支比率(最高点5)

- ・前年より▲9.0%は良好(5)
- ・コロナ交付金増が影響(4)

4.5

4. 基金の状況(最高点5)

- ・浄水場、柏木運動場などの準備を(5)
- ・積立増より住民要望実現を(2)

3.6

福祉・教育・医療

コロナ感染症に振り回されたが、概ね
良好に執行できた。ただ、問題点が無い
わけではなく、指摘事項がある。3.8
〈3.6〉↗

1. 子育て支援(最高点5)

- ・子育て支援センターが良好(5)
- ・未満児受入れに課題あり(2)

4.6

2. 教育環境整備(最高点5)

- ・安全対策はできている(4)
- ・引きこもり、不登校に成果なし(2)

3.8

3. 社会教育環境整備(最高点5)

- ・体育館の整備ができた(4)
- ・コロナ禍以降に有効な対策なし(1)

2.8

4. 医療・健康管理・コロナ対策(最高点5)

- ・コロナワクチン接種がスムーズ(5)
- ・対コロナに舵を切るべき(2)

4.1

産業振興

ワーケーションの施設整備・千人塚
の整備が進んだが、コロナ禍で集客が
難しかった。2.7
〈2.7〉→

1. 農業政策・地産地消(最高点4)

- ・米価支援を評価(4)
- ・後継者不足、遊休荒廃地が未解消(2)

3.0

2. 商工振興・企業支援・企業誘致(最高点4)

- ・企業誘致に成果がでた(4)
- ・スーパー、ドラッグストアが誘致なし(1)

2.5

3. 観光振興(最高点5)

- ・指定管理がうまくいった(5)
- ・積極的アピールが必要(2)

3.5

4. 環境循環ライフ構想(最高点4)

- ・構想のスタート、着実な実施を(4)
- ・今、ワーケーション優先ではない(1)
- ・机上の空論で期待できない(1)

1.9

インフラ整備・安全管理

財源を国県に頼るものは、遅れが出る。
老朽化が進む施設があり、今後の課題と
なる。浄水場・下水処理場が難題。3.2
〈3.6〉↘

1. 町道・橋梁整備(最高点5)

- ・与田切周辺歩道整備を評価(5)
- ・財政に応じた事業継続を評価(4)

3.9

2. 交通安全・防災減災(最高点5)

- ・コロナ禍でも防災訓練が必要(1)
- ・警戒区域の改善策を住民に周知を(2)

2.2

3. 公共施設老朽化対策・管理(最高点4)

- ・町民体育館の補強は有用だ(4)
- ・何も進んでいない(1)

2.8

4. 上水道・下水道管理(最高点5)

- ・少ない職員でも努力が見える(5)
- ・水道の行政間連携ができた(4)
- ・他市町村に比べ高い(1)

4.1

委員会審査

総務産業委員会

陳情審査

不採択

「森友公文書改ざん問題、国会で真相究明を」
提出者 矢澤親男氏（伊那市）を参考人招致し審査をしました。
賛成1、不賛成4で不採択。

討 論

反対

- ・近畿財務局のミスが問題の根本。内部文書の訂正は改ざんではない。司法に委ねている。

- ・3月議会での審議内容と同じもの。一度議会で不採択と決定しているため、その内容に従う。

賛成

- ・公文書訂正は問題だ。国会で真相究明をされていない。地方議会が住民の権利である「真相を明らかにしてほしい」という願いを止めるべきではない。

社会文教委員会

陳情審査

採 択

「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める」
提出者 宮下愛氏を参考人に招致審査しました。
賛成4、不賛成0で採択。

討 論

賛成

- ・障害や悩みを持つこどもの最後の砦として必要だ。

決算特別委員会

9月2日に総務産業分科会と社会文教分科会に審査を付託し、13日に委員会を開催しました。両分科会主査から報告を受け、質疑の後、討論採決。

問 基金積立より、公債費を増やした方がよいと思うが。

答 交付金が思ったよりたくさんきた。財政調達基金に積んだのは、「光をそそぐ」事業が3年間あるため、それを視野に入れた。

問 コロナ禍にもかかわらず課長や係長の異動が多い理由は。

答 コロナ後を見越したものの、課長人事の大きな目的は、環循ライフ構想がメイン。これを中心に考えた人事。

問 建設水道の人員不足、健康福祉、教育委員会も人員減。出向者が多いので、その分現場の負担が増えているのではないかと。

答 全体のバランスを見ながら配置している。結果を見て、調整したい。出向者が今年度とり

わけ多いわけではない。

問 事業所内での感染に関する情報は入ってこないのか。

答 事業所レベルでは保健所から情報は入ってこない。学校と福祉事業所は入ってくる。買い物支援に関しては、社協を通じて仕組みをつくっている。プライバシー保護の面もあるので、調査までは考えていない。

問 職員のパワハラがあった時の窓口はあるか。精神面のフォローは。

答 副町長レベルでは事例は来ていない。衛生委員会や課長などを通じて事例が発生した場合は対応していく。心のケアについて外部等に相談できる体制はある。

討 論 ・ 採 決

令和3年度飯島町一般会計歳入歳出決算認定

令和3年度飯島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

令和3年度飯島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

令和3年度飯島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

令和3年度飯島町水道事業会計決算認定

令和3年度飯島町下水道事業会計決算認定

全6会計賛成9、不賛成0で認定すべきもの

総務産業分科会

進まない空き家対策

令和3年度一般会計決算

賛成4、不賛成0で認定の意向

主な質疑

総務課

問 防犯対策費のバス停防犯カメラはどこで管理しているか。

答 常に見てはいないが総務課で管理している。

問 警備会社への委託は。

答 現在の機器では対応できない。管理については検討する。

問 庁内システムを分割入札にした効果は。

答 409万円ほど下がった。

企画政策課

問 6次総に基づく重点プロジェクトの推進・ワーキンググループの進捗は。

答 人口ビジョンに基づいて行った。進捗管理は、目標指標を実施計画内で示している。これまではなかなか動きが見えなかったが、企画政策課も入り動きが現われている。

問 旧丸井醸造の跡地利用は。

答 基本方針は公共用に使えるいか検討。町内業者へ照会中。

産業振興課

問 環境共生栽培米(越百黄金)が増えていない。ブランド化し、単価を上げる取り組みを。

答 栽培法に課題。ブランド米は世の中に星の数ほどあるため難しい。引き続き検討していく。

問 企業誘致の引き合いは増えているのか。

答 伊那谷は人気があり増えている。既存企業の拡張・設備投資もみられる。

地域創造課

問 定住促進事業の相談件数は関東・東海が多いが、移住者は近隣が多い。要因は。

答 去年はセミナーが行えなかった。分析はできていない。

建設水道課

問 住宅使用料に滞納繰越がある。状況は。

答 4世帯13ヶ月分。収納対策と連携し、順調に回収できている。

問 引き落としした後の様子確認も必要だが。

答 収支の家計調査を行なっている。現年度を優先で支払い、進学などで必要があれば相談に乗っている。

問 特定空き家へ認定されなかった。消極的ではないか。

答 協議会は「認定すべき」と判断したが、町は判断を見送った。

危険な空き家は35件。今年も協議会を開いていく予定。

会計課

問 金庫室のセキュリティは。

答 都度の施錠はしていないが、金庫には会計担当しか入れない。

議会事務局

問 他町村と比べて議会費はどうか。

答 議会費の9割は報酬。他町村と大きな違いはない。

令和3年度水道事業会計決算

賛成4、不賛成0で認定の意向

主な質疑

問 今後の課題は。

答 人員不足。現在1名減。今のところ支障はない。

令和3年度下水道事業会計決算

賛成4、不賛成0で認定の意向

主な質疑

問 下水処理場の処理能力は足りているか。2池目の計画は。

答 人口減少のため2池目は必要ない。動力費が上がっているため太陽光などを検討。



子どもも心配 危険空き家

社会文教分科会

コロナ禍の影響はないか

令和3年度一般会計決算

賛成4、不賛成0で認定の意向

主 な 質 疑

住民税務課

問 七久保区では井戸水の水質検査を独自に補助している。災害対策で町も補助金の検討を。

答 危機管理係と調整が必要。

問 水質検査に異常はないか。

答 町の検査で異常はない。

問 子育て世帯給付金は対象者全てに給付されたか。

答 された。

問 戸籍の証明書など無料交付される場合はなにか。

答 裁判や交通違反などの照会は無料となる。

問 戸籍謄本などコンビニ交付は増えているか。

答 増えていない。

問 税滞納者の原因はコロナか。

答 コロナの影響ではない。

問 固定資産税不納欠損の内容は。

答 会社が休眠状態で回収不能と判断。

健康福祉課

問 引きこもり者の「居場所」事業とは、何が行われているか。

答 引きこもり者や高齢者が気兼ねなく行ける場所。社協と協力している。

問 引きこもり者の年齢は。

答 20～50歳。親からの相談が多い。

問 町全体を把握しているか。

答 平成30年11月に民生委員による実態調査をしている。

問 買い物支援事業の状況は。

答 対象店舗が限られていたのので廃止した。

問 福祉タクシー券の交付対象は。

答 民生委員と協力して、交通手段の無い方へ配布している。

問 自殺者の状況と推移は。

答 0ではないが増えてもない。

教育委員会

問 要保護児童が増えているが、コロナは影響したか。

答 影響もある。経済的要因は大きい。

問 学童クラブ支援員が7名。支障はないか。

答 飯島4名・七久保3名で、今は支障なし。

問 不登校だった中学生の卒業後もフォローはしているか。

答 多様で複雑だが高校と連携して支援している。子供の意志を尊重する。

問 図書館システム変更は。

答 上伊那広域全体で契約。連携が強まる。

問 本郷運動場のトイレが使用しづらいとの声があるが。

答 改善を考えていきたい。

令和3年度

国民健康保険特別会計決算

賛成4、不賛成0で認定の意向

主 な 質 疑

問 国保特定検診の受診率が高く素晴らしい。どう進めたか。

答 保健師・栄養士で地区分担し、しつこいくらいに周知した結果だと思う。

問 特定検診の受診率の対象は。

答 国保のみで把握。

令和3年度

後期高齢者医療特別会計決算

賛成4、不賛成0で認定の意向

令和3年度

介護保険特別会計決算

賛成4、不賛成0で認定の意向

主 な 質 疑

問 福祉事業所がコロナ禍で経営が大変と聞くが対応は。

答 社協と連携して支援。

問 認知症関係事業・介護予防事業、コロナ禍で中止になっているが状況は。

答 健康管理を各自治会で工夫して実践している。



利用者目線で設計を!

9月2日に総務産業分科会と社会文教分科会に審査を付託し、13日に委員会を開催しました。両分科会主査から報告を受け、質疑の後、討論採決。

令和4年度

一般会計補正予算(第4号)

賛成8、不賛成2で可決すべきもの

討論

反対

- ・ 柏木運動場の調査費は国民スポーツ大会ありきだ。
- ・ 住民負担になるもので、説明不足であり時期尚早。

賛成

- ・ 国民スポーツ大会に向けたもので、評価できる。
- ・ 調査費は説明資料に必要だ。農業支援は期待できる。

令和4年度

3特別会計・2事業会計補正予算

5会計全てで賛成10、不賛成0で可決すべきもの

総務産業分科会

令和4年度

一般会計補正予算(第4号)

賛成5、不賛成0で可決の意向

主な質疑

総務課

問 電気自動車購入とあるが、充電設備はあるか。

答 新設工事を行う。予算計上済み。

問 貸出用デジカメの目的は。シュレッダーが高価すぎないか。

答 カメラは故障により買い換え、庁舎内貸出用。シュレッダーは記録媒体も破砕可能なもの。

産業振興課

問 農業資材等物価高騰対策事業の申請と交付手順は。

答 耕作面積をもとに算出。計

画書提出時に合わせて明確な資料で周知する。

10a当たり2000円の支援。

問 新型コロナウイルス対応営業力向上事業支援の600万円追加理由は。

答 当初予算枠が終了。10件ほど交付決定待ち。全体で50件程を見込んだ。今後の状況によっては補正もありうる。

建設水道課

問 町営住宅除却工事費増額の内容は。

答 標準工事の単価が上がった。仮設の設置分・便槽解体費・外構撤去・立木伐採など。



除却される豊岡住宅

令和4年度

水道事業補正予算(第1号)

賛成5、不賛成0で可決の意向

主な質疑

問 水道管の新設増径工事は「光をそそぐマイホーム事業」関連か。

答 関連が多い。

令和4年度

下水道事業補正予算(第1号)

賛成5、不賛成0で可決の意向

社会文教分科会

令和4年度

一般会計補正予算(第4号)

賛成3、不賛成1で可決の意向

主な質疑

健康福祉課

問 養護老人ホーム負担金は。

答 南箕輪「みすず夢ゆりの里」の赤字分を上伊那市町村で補填するもの。

教育委員会

問 中学校管理費の修繕費と女子トイレの改修の内容は。

答 給湯室の網戸修繕。トイレは和式を1つ残し洋式化する。

問 成人大学センター改修費の内容は。

答 アスベストが使用されているための施工変更と屋根修理。

問 柏木グラウンド整備の住民説明は。

答 設計はこれから。出来次第説明を行う。

問 病児病後児保育おひさまハウスの利用状況は。

答 令和4年5月開業。月平均延べ30日程使用されている。利用料は1日2万円で、保護者負担は1000円(保育園児は無料)。胃腸炎・手足口病で使用。

令和4年度

国民健康保険補正予算(第1号)

賛成4、不賛成0で可決の意向

問 法対応システム改修とは。

答 国保連・情報センターの改修に伴う負担金。

後期高齢者医療補正予算(第1号)

賛成4、不賛成0で可決の意向

介護保険補正予算(第1号)

賛成4、不賛成0で可決の意向

公開します〔9月定例会 審議議案と議員の賛否〕

上程議案・概要・結果	賛成：○	不賛成：×											結果	参照ページ	
○…賛成多数で原案を可決・認定・採択 ×…賛成少数で原案を否決・不認定・不採択 △…原案に対する修正案を賛成多数で可決・認定・採択			浜田 稔	久保島 巖	片桐 剛	吉川 順平	坂本 紀子	星野 晃伸	三浦 寿美子	堀内 学	坂井 活広	伊藤 秀明	宮脇 寛行	折山 誠	
条例の制定及び一部改正														注	
一般職の任期付職員の採用等に関する条例 任期付一般職の制度導入	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
議会議決に付す公の施設の利用及び廃止に関する条例 学校給食センターを追加	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
令和3年度 歳入歳出決算認定 (監査委員は評決に参加しない)															
令和3年度一般会計	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	4~8
令和3年度国民健康保険特別会計	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4~8
令和3年度後期高齢者医療特別会計	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4~8
令和3年度介護保険特別会計	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4~8
令和3年度水道事業会計	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4~8
令和3年度下水道事業会計	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4~8
令和4年度 補正予算															
令和4年度一般会計(第4号)3億1849万円 農業資材高騰対策・柏木グラウンド調査費など	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	4,9
令和4年度国民健康保険特別会計(第1号)3031万円 繰越金の実績見込みに伴う	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4,9
令和4年度後期高齢者医療特別会計(第1号)198万円 広域連合納付金の実績見込みに伴う	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4,9
令和4年度介護保険特別会計(第1号)3688万円 繰入金の実績見込みに伴う	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4,9
令和4年度水道事業会計(第1号)1802万円 民間宅地関連の管路増設など	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4,9
令和4年度下水道事業会計(第1号)△74万円 人事異動に伴う	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4,9
契約の締結など															
町道の改良工事請負契約の締結 町道南田切線その2	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
町道の舗装補修の工事変更請負契約の締結 町道高尾原北線	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
請願・陳情															
森友公文書改ざん問題の真相究明を求める 公文書改ざんの真相を国会で究明を	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	4,6
不登校児童生徒に学習機会の確保を求める フリースクールなどへの経済的支援を	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4,6
意見書															
不登校児童生徒に学習機会の確保を求める フリースクールなどへの経済的支援を	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
安倍元首相の国葬の中止を求める 法的根拠も国会審議も無い国葬の中止を	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	4
選挙管理委員の選任	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4

(注) 議長は議事進行のため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」で表明。

コロナ対応への要望書を 議会から町へ提出したが・・・。

7月19日 協議会検討事項

- 1. 飯島・七久保警察官駐在所**
総務課長 両駐在所の建屋は取り壊しを行う。七久保駐在所跡地を消防団の駐車場として利用。
 - 2. 新型コロナワクチン接種**
健康福祉課長 4回目の集団接種は7月23日から。60歳以上と基礎疾患のある18歳以上の住民が対象。
 - 3. 与田切公園利用料金の一部変更**
地域創造課長 オートキャンプ場の区画を整理して面積対応の料金とし、収入の増加を見込む。
- 問** ペットの持ち込みは可能か。
答 観光戦略会議にて検討する。

8月18日 協議会検討事項

- 1. レディースファーム計画**
産業振興課長 「アグリイノベーション2030」の一環として、子育て世代の女性に、働きやすい環境を作るための計画。
問 町の関わりは。
答 主体は民間が法人を組織する。今回をモデルケースとして行いたい。
- 2. 百間ナギ崩落対策合同会議**
建設水道課長 大規模な亀裂による崩落への対策を講じる。
問 避難小屋の更新はするのか。
答 移設の予定であったが崩落個所に近くなるため再検討する。

- 問** 浄水場への影響は。
答 浄水場よりもかなり上流で止まる見込みだが、雨の影響も考えられる。



亀裂の入った摺鉢窪カール

- 3. 千人塚公園における民営グランピング事業**
地域創造課長 櫻山西側にグランピング施設が開設する予定。
問 町との関係は。
答 行政財産使用許可を出した。
- 問** グランピングの経営実績は。
答 町以外に3か所同時に進めているがまだ実績はない。
- 問** 四季彩プロジェクトで白樺を植える計画があった場所だが。
答 計画は聞いているが、実際に動いてはいない。

9月15日 協議会検討事項

- 1. カーボンニュートラル宣言**
住民税務課長 宣言をする式典と講演会を予定。
問 計画策定はいつまでか。
答 令和5年度中に策定予定。
- 2. 健康推進委員の廃止**
健康福祉課長 各自治会の健康推進委員の廃止を検討。

コロナ対応への要望に対する 町の回答



町長から回答書

- 1. 県・保健所に情報提供を求める。**
回答 情報はもらえない。町の介護サービス事業者との連携を図る。
- 2. コロナの相談窓口一本化を。**
回答 各課に相談窓口を設置している。
- 3. 町として、住民への行動指針を。**
回答 国や県の方針に準じて呼びかけをしている。
- 4. PCR検査機関の周知を。**
回答 県のホームページに掲載されている。
- 5. マスク着用基準を速やかに町民に周知を。**
回答 町広報紙やホームページなどにより周知をしている。
- 6. 農業者を含む事業者の経済状況調査と、それに伴う対応を。**
回答 町では各種補助金や融資制度の運用により支援を講じている。JAや商工会などを通じて引き続き把握に努める。
- 7. 大人数が集まる場所での検査キットの配布を。**
回答 無症状の場合は陰性となる可能性が高く、感染防止効果が得られないため行わない。個々の対策が重要である。

町政を問

10議員が質問

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

吉川 順平 **人口増**
リニア新時代に備えを P12

片桐 剛 **新防災対策**
指定避難所など内容刷新を P13

久保島 巖 **人口増対策**
数より質とつながりを P13

伊藤 秀明 **新給食センター**
試食会はいつからか P14

星野 晃伸 **ガソリン税**
消費税分の減税を P14

宮脇 寛行 **警戒区域**
町の改善計画は P15

堀内 学 **地域おこし協力隊**
隊員が減少している原因は P15

坂本 紀子 **柏木運動場**
整備費は P16

三浦 寿美子 **学校給食センター**
調理員の処遇改善を P16

浜田 稔 **iiネイチャー春日平**
当初計画に沿った運営か P17



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



人口増

リニア新時代に備えを

町の魅力を高めたい 町長

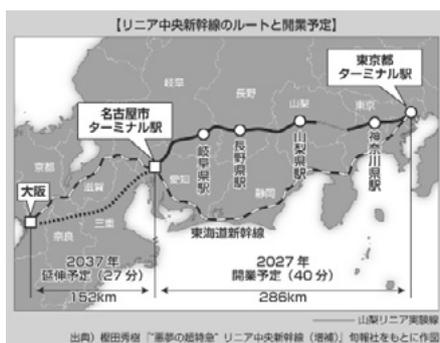
問 6次総にある「人口増プロジェクトチーム」の取り組みの経過は。

町長 各分野別のワーキンググループを設置し、飯島でマイホーム関連補助の創設や保育園の副食費の無料化など、新たな施策を実現してきた。

全職員への説明会・地区別懇談会で第6次総合計画の説明に取り組んできた。

問 リニア新時代・三遠南信自動車道の開通を見据えた人口増対策は。今から準備を。

町長 飯島流ワーケーション・レディースファーム事業など魅力ある町におのずと人が集まる。私のまちづくりの基本姿勢。



リニア新時代・三遠南信自動車道 未来図

町長訓示の意味は

問 毎月8人の人口増目標を職員に示し、各課へ対策を投げかけた。この数値目標の考え方と進捗管理は。

町長 この数字はあくまでも目安。大切なことは数ではなく、町の魅力度を高める事業を進めること。各課で進めていく。

問 生活必需品を飯島町で買うことができる商業施設誘致の具体的な見通しは。

町長 非常に苦勞している。間にディベロッパーが入っており、意向などを踏まえ進める。町民の皆様が便利だという環境整備を目指している。



新防災対策

指定避難所など内容刷新を

時代に合わせ今後検討 町長

問 町では、コロナ対策関連も含め、各自治会、指定避難所等にも段ボールベッド・間仕切り等の資機材の拡充を行ってきた。その結果、収容スペースが圧迫される。指定避難所等の収容人数に対する変化の把握は。

総務課長 避難所の収容人数は、飯島町地域防災計画に各避難所の収容人数として掲載している。感染症対策を考慮すると計画に示されている人数よりおおむね2分の1ほど減少することが見込まれる。

問 半分は収容できないとのことか。

総務課長 半分程度かなあというふうに想定している。

問 指定緊急避難所の中には、総合ハザードマップで、土砂災害危険地域として示されている地区にあり、矛盾がある。自治会を超えた避難も必要だが。

総務課長 それぞれの災害の種類に対応できる施設に避難することを基本に考えている。自治会を超えた避難は、防災全体説明会でも議題となっている。

問 以前、災害警戒地区への土地分譲・住居建設があった。現在の土地利用計画は、災害を考慮した計画実施となっているか。

企画政策課長 土砂災害防止法制定後は、計画の実施段階で危険区域を考慮し計画策定・事業実施を行っている。



警戒地区と重なる避難所

9月定例会では議員10名が登壇し町政を質しました。



人口増対策

数より質とつながりを

魅力という質を求めている 町長

問 当町が選ばれるには、ターゲットを絞り働きかけることだ。0歳から18歳の子どもがいる世帯では広すぎる。ナンセンスだ。

町長 0歳から14歳が少ないので取り上げた。子育て世帯がターゲットはナンセンスというのが分からない。

問 ターゲットを絞っても人口増は難しい。「数」より「質とつながり」という考えに賛同する。町は方向転換を。

町長 単なる数合わせでなく、「魅力という質」を求めている。移住前に地域の魅力を感じてもらおう施策として、ワーケーションがある。

DXは住民本位で

問 ICT化は行政業務本位で、DXは住民本位であるべきだ。そうした認識はあるか。

副町長 DXはICTの導入で

はないと認識している。町民にとって何を取り入れ、どう便利な暮らしができるかを理事者・職員が共通認識で進めている。

問 高齢者もインターネットを駆使する時代だ。できない人に合わせることはDXを阻害する。アナログと併用すればよい。一律ではなく個別の時代だ。

総務課長 スマホが苦手な人もいるが、ネットで買物などをする時代。講習会なども考えたい。両方使える方法など参考にする。

問 DXを進めるには、町民へ提供するサービスや利便性向上を、町長の施政方針で示す必要があるが。

町長 DXを進めるのが目的ではなく、事業の中にDXがあるという観点で進める。

▶その他の質問

・職員の資格所得に対する処遇改善



今回参考にしたセミナー資料



新給食センター

試食会はいつからか

伊藤 秀明

今後実施予定 教育長

問 新給食センターでの給食試食会はいつからか。

教育長 11月に向けて体制を整えている。センター視察・試食・食育を実施予定。



給食試食はいつから

6次総2年目

問 ゼロカーボン宣言をいつするか。

住民税務課長 10月を目標に調整している。イベントを開催し、その中で宣言発表したい。

問 チャットボット導入を提案するが。

総務課長 町としても業務の効率化・住民サービスの効率化につながるツールとして認識している。県内でも多くの自治体で

チャットボットを運用している。県の市町村自治振興組合で、共同調達を計画中。

子育て支援

問 保育園、オムツ持ち帰りの解消に向けて検討しているか。

教育次長 検討している。現在の可燃ゴミ回収業者にも相談し、実施方法・費用を確認している。

- ▶その他の質問
- ・見守り桜伐採後
- ・百間ナギクラック対応



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



ガソリン税

消費税分の減税を

星野 晃伸

国に減税は言えない 町長

問 電気・ガソリンの高騰で物価も上昇。消費税分の減税を要望できないか。

町長 国は、現在の高騰に対して元売り会社に補助金を出すことで対応している。道路財源が無くなることもあるため、国に減税は言えない。

問 地方交付税で都市部との不均衡は調整されているか。

企画政策課長 行政サービスの財源に交付税がある。格差を無くすために国税を徴収し、一定程度調整されている。

問 物価上昇で影響を受けた企業や弱者に対する支援は。

産業振興課長 企業へは暮らし復興券と営業力向上補助金などで対応している。

健康福祉課長 低所得者生活応援給付事業として非課税世帯に1万円、福祉事業者に5万円の補助金などで対応している。

問 民生児童委員の報酬は適正か。活動範囲は広くないか。

副町長 民生委員法にそって報酬や活動範囲を決めている。

放課後の子ども達に

問 学童クラブと子ども広場の違いと課題は。

教育長 学童クラブは教育委員会、子ども広場は各区で支援している。

学童クラブは長期休みに多くのこどもが参加している。指導員の確保に課題がある。

平和教育

問 教師は生徒に、多くの戦争に対する情報を偏りなく伝えているのか。

教育長 戦争とはあってはいけない事で、生徒の感じたことは大切にしたい。

世界で活躍する青年に学ぶ

問 青年海外協力隊を中学生にも触れる機会を持ってほしいが。

教育長 良い話なので前向きに検討する。



警戒区域

町の改善計画は

国と県に要請 町長

問 土砂災害警戒区域・特別警戒区域を指定しただけで、改善がされていないが。

町長 改善計画はない。

問 改善計画がないということは、国・県に要請することが、町の主務と考えてよいか。

建設水道課長 警戒区域のほとんどは国・県が管理している。町は定期的に国・県とパトロールを実施し、現地の状況を確認している。所管している国・県に改善を要望している。

ただし、町の施設が警戒区域

にあれば町が改善する。

問 過去に災害が発生した場所や、緊急性が高い箇所から優先的に改善すると答弁があった。

美澤自治会から、昭和58年に発生した河川災害の護岸工事未実施箇所や堰堤・川底の改修要望があった。改修計画は。

建設水道課長 当該箇所は1級河川であり、県と現地確認した。現在のところ改修計画はないが、町としては調査箇所として要望をしていく。



工事未実施箇所

基幹産業の農業支援

問 小規模農家や家族対応農家に特化した支援を望むが。

産業振興課長 国には小規模農家に特化した支援はない。

町は本会議で提案している農業資材等物価高騰対策で、小規模の販売農家も対象とした補助制度を考えている。

今後同様の支援を行ってきたい。

9月定例会では議員10名が登壇し町政を質しました。



地域おこし協力隊

隊員が減少している原因は

お願いするミッションがない 町長

問 昨年度12名いた隊員が6名に減少している。コロナ禍こそ隊員を活用し、地域の活性化に取り組んでもらうことが良いと考えるが。

町長 新しく2名の隊員を採用した。他にお願いするようなミッションがない。

問 任期の延長ができる制度を使い1名延長した。他の隊員は延長しなかったのか。

地域創造課長 本人からの希望がなかった。

問 任期を終えた隊員は、飯島に定住したのか。

地域創造課長 6名のうち4名は飯島に住んでいる。2名は個人の事情で町外に移住した。

問 隊員が飯島で生活するには、町民とつながりを作り、協力関係を築く必要がある。町として積極的に機会の提供をしているのか。

地域創造課長 原則として隊員自らが行動して掴んでもらう。相談があればサポートを行う。

活動の周知ができるように対応する。

公用車の更新

問 登録から13年経過した公用車が18台ある。カーボンニュートラルに向けて、燃費の良い車両に更新し、取り組みのアピールをすべきだが。

町長 管理規定により更新することが最善だ。



傷みのはげしい公用車

▶その他の質問
・専門職の配置を問う



柏木運動場

整備費は

総額6億5千万円で約3割を町 教育長

問 国民スポーツ大会のホッケーサブ会場候補地の協議経過は。他の競技に使えるのか。

教育長 スポーツ観光振興プロジェクト会議で与田切公園と柏木運動場を比較検討。飯島FCと意見交換し決めた。人工芝が必須で、サッカーやラグビーに使えるがテニスは出来ない。

問 多額の一般財源を投入する。住民合意が必要だが。

教育次長 地元自治会や七久保区会で説明を行い、町民の理解を得て進める。

問 大会後の活用と管理は。

教育次長 町内サッカークラブの利用や松本山雅による教室。土・日は町外からの予約で空きがない見込み。指定管理で人工芝の保守管理に年40万円。

河川の土砂上げ

問 七久保駅南側の土砂上げは、地元関係者のバックホーやダンブを借り上げ対応しているが、年々大変になっている。新田自治会が申請した金額より町の支

払い額は少ないが。

産業振興課長 多面的機能支払交付金事業で地区営農組合から自治会配分と個人農地配分を算出している。算出は4区の田や畑の交付対象面積による。直接交付していない。

問 不足分を町で補助することを求めるが。また、業者対応は出来ないか。

町長 地域の景観は行政も応援するが、自分達で維持する基本姿勢が大事。補助は慎重に検討する必要がある。

産業振興課長 非常に困難な案件は町に相談して欲しい。

▶その他の質問
・レディースファームの事業内容を問う



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



学校給食センター

調理員の処遇改善を

給与改善を指示した 町長

問 給食センターの調理員を常に募集中。本来は何人必要か。

教育長 730食分で常時8人必要。現在、代替もいる。栄養士は配置。

問 応募がないのは、他市町村と比べ給与が低いからでは。対策が必要だが。

教育次長 調理員と懇談し、給与への意見を総務課に伝えた。

問 処遇改善を求めるが。

町長 給与改善を指示した。

草刈りの 住民負担軽減を

問 道路の路肩・法面の草刈りは、どのように行っているか。

建設水道課長 国・県道は県が年1回実施。田切の里から駒ヶ根境は、県の資材で区が実施。広域農道は町が委託。ほとんどの町道を住民で実施。

問 国・県道は、路肩までしかしていない。法面まで要望を。

建設水道課長 県の現地調査で要望する。町道は定期的実施。

問 住民は負担軽減を求めているが、対策は。

建設水道課長 協働のまちづくりで以下の項目を検討中。

- ・現物支給(除草剤)
- ・多面的機能支払交付金道路版
- ・草刈り協力費
- ・町の実施範囲拡大

問 法面が高さ6メートルの危険な場所も住民が実施している。雇用の仕組みづくりを。

建設水道課長 検討課題にする。危険な場所は、まず町に相談して欲しい。



危険な草刈り作業
(本一の町道、高さ6メートルの法面)



iiネイチャー春日平

当初計画に沿った運営か

浜田 稔

事業計画は理想形だ 町長

問 ワークेशन事業が上程された一昨年9月議会で、町の説明は。

- ①都市部企業の社員と家族が対象で、一般の参加者は想定しない。
- ②2泊3日程度の農業体験では再来率が上がらない。

③感染症対策で1台2名に限定する。癒し効果の検証には5台必要だ。

しかし現実には、今までの利用した企業人は1台4名。週末の利用は一般客がほとんどだ。予算を通すための説明だったのか。

町長 宿泊業は経営が厳しく事



閑散とした週末（9/10 土曜日）

業は思ったように進んでいない。トレーラーハウスを空けるのではなく一般客を入れた。リニア新時代も見据え、事業計画では理想形を入れた。

旧統一教会問題

問 教育委員会・町は関わりを持っているか。

教育長 宗教・政治団体への共催・後援は行っていない。

町長 関わった記憶は無い。

問 旧統一教会への見解は。

町長 一宗教だけへの見解は控えたいが、法に抵触する事案は裁かれるべき。

教育長 十分な知識や情報を持たず、判断は控えたい。

▶その他の質問

・安倍元首相の家族葬対応

9月定例会では議員10名が登壇し町政を質しました。

上伊那広域連合議会

8月定例会（8月22日）

1. 損害賠償請求和解の議決
2. 令和3年度一般会計決算認定
歳入 30億791万円
歳出 29億1383万円
3. ふるさと市町村圏基金・土木振興・消防事業3会計の認定。

伊南行政組合議会

第3回定例会（8月29日）

1. 育児休業条例改正の可決
2. 令和3年度一般会計決算認定
歳入 9億9529万円
歳出 9億5902万円

3. 令和3年度病院事業会計決算認定
収支
収入 79億2307万円
支出 76億8147万円
4. 令和4年度一般会計補正予算（第2号）の可決
5. 令和4年度病院事業会計補正予算（第2号）可決

追跡

あれ
どうなった一般質問・審査での意見
請願陳情その後のゆくえ

1. 学校のトイレを洋式化に。（令和3年6月 伊藤一般質問）
その後→令和4年9月補正予算
飯島中学校の女子トイレ各1つ和式を残して洋式化
2. 自治会の負担軽減を。（令和3年6月 浜田一般質問）
その後→令和4年9月全員協議会
健康推進委員の廃止を検討開始
3. 小規模農家への支援を。（令和4年3月 宮脇一般質問）
その後→令和4年9月補正予算
販売用耕作農地10a当たり2000円を支援

各種団体と懇談会開催中

議会運営委員会

町内各自治会との懇談会

町内各自治会に議員2～3人が赴き、議会や町への要望・ご意見などをお聴きしています。

コロナ禍のため日程を遅らせたこともあり、現在13自治会で実施、年度末までに終了し「議会だより」にて報告予定。

総務産業委員会

商工会との懇談会(8/30)

コロナ禍の影響

〈各役員の印象など〉

- ・観光客は多く、与田切公園はにぎわっている。
- ・高齢者やその家族は家から出づらくなっている。
- ・仕事は回復している(工業)。
- ・景気は良くない(商業)。
- ・町全体に活気がない。
- ・家の片付けでゴミの量が増えている。

〈復興券への意見〉

- ・使い方がわからない。
- ・酒は飲まない、コロナで出ない(店舗限定券は有効か)。
- ・復興券は最善の方策か。
- ・受け取った店舗で再使用している(半券方式も検討を)。
- ・年金生活者は『外食なんてとんでもない』と言っている。
- ・町は不要不急の外出は控えるよう求め、町民は従っている。

商業部会

トレーラーハウスへの要望

- ・町内MAPの作成を。
- ・出前を可能に。

建設業部会

- ・資材が高騰。
- ・町内企業に発注を。

青年部

- ・イベントに町の支援増を。

女性部

- ・後継者不足。事業所の「火」を消さないよう。
- ・公園に遊具を多く。
- ・与田切河川に木が生い茂っている所以对策を。
- ・危険空き家対策。持ち主への注意喚起を。

建設水道課との協議会

(9/29)

現地視察(北梅戸住宅・陣馬住宅・南街道危険空き家・高尾原北線道路拡幅・県道北林飯島線道路改良)後、担当課との協議会を行った。



道路改修視察(高尾原北線)

問 町道法面の除草問題、交付金・負担軽減検討とあったが業者委託か。

答 町道は約340km。慎重に考える。自由度がある交付金を検討している。道普請・井普請で使用できたらと考えている。

問 空き家・セーフティーネット住宅の取り組み課題は。

答 県に登録する必要がある、制度上10年の縛りもあり、家主の手間も発生する。

問 中川村への給水事業で300万円増収見込み。町民への還元予定と設備更新は。

答 料金への反映を検討している。施設更新で大きいところは、浄水場。

社会文教委員会

柏木グラウンド視察(9/9)

問 住民への説明は。

答 設計ができてから。

おひさまハウス視察(9/14)

(病児・病後児託児施設)

- ・近隣市町村の子どもの受け入れにも補助が使えるよう、県に働きかけを。



おひさまハウス

民生児童委員との懇談

(9/20)

- ・まとめを次回の民生児童委員定例会までに報告する。

今後の予定

上伊那広域管内議員研修会

10/21(飯島町)

伊南各市町村議員研修会

10/26(中川村)

中部伊那町村議会議員研修会

11/24(飯島町)

議会全員協議会 10/18・11/18

議会運営委員会 11/18

12月定例会 12/2～12/14

議会だより モニターのひとこと

第99号 広報紙面に対するご意見

◆表紙

【良かった点】

- ・各ボランティアさんによるお弁当作りの様子が伝わって大変良い表紙です。
- ・ご縁食堂の活動の様子がよくわかりました。
- ・裏面の町民の声を議会への記事が表紙の写真の説明の様な感じになっていて良かった。

【改善点】

- ・写真/議会広報委員会の横にカッコ書きで裏面参照と書けば良いような気がしました。

◆特集ページ「令和4年度 各委員会年間計画」(P2)

【良かった点】

- ・各委員会の年間計画が一目で理解できるレイアウトで良いと思います。
- ・各委員会の方針、年間計画がまとまっていて見やすい。
- ・計画の実施報告と評価の企画をお願いします。バックの色も良いと思います。

【改善点】

- ・各委員会の担当の議員さんのお名前が記載されていると尚良かったのではと思います。
- ・2022年度とあるが、この議会だよりは8月末に町民の手に届く。遅すぎるのでは？

◆特集ページ「第3回臨時会」(P3)

【良かった点】

- ・4時間に亘り議論を行ったその採決の賛成、反対の内容がよく理解できました。
- ・町民としてくらし復興券の交付は生活支援になり、第5弾についても期待は大きい。
- ・それぞれの題目が青丸になっていて工夫されていると思った。
- ・くらし復興券について、効果検証を町民、事業者、町、各々の立場で行い利用しやすいもので第5弾を実施してください。

◆定例会(P4~P9)

【良かった点】

- ・トレーラーハウスの件では、細部にわたっての議論の様子が写真掲載と共に明確で、とても良いと思いました。
- ・文章も簡潔でわかりやすく文字も大きく年配者でも見やすくわかりやすい。

【改善点】

- ・P9 議会全員協議会とは？その名の通り議員さんがいっしょに情報などを持ち寄り確認？する場？議論や、議決の場ではないようですが。
- ・P8の議員の賛否の表はそれぞれのページの質疑の後に賛成何票、不賛成何票と明記すれば、いらぬページだと思います。
- ・床暖房や小ヒーターと合せて、エアコン設置について検討しなかったのでしょうか？限られた予算で行うことなので、合理的に考え計画、実行をお願いします。事業自体の評価はどうなっているのですか？

◆一般質問(P10~P15)

【良かった点】

- ・消防団の団員報酬の件、また車両の運用等、今もってこの様な…と驚きます。精査して、情報を発信して改善をお願いします。
- ・議員さんお一人お一人の写真も(第98号)と変えての掲載で変化もあり、大変良いと思います。
- ・それぞれ議員が何を質問しているのわかりやすく、見やすい。

【意見・感想】

- ・レディースファームの特集してください。導入される前に関心高めて!!
- ・P13、オゾン水利用。基準にないからやらない、考えないということですが、現在の洗浄、どっぶり次亜塩素酸ナトリウムにつけて保護者からの意見は出ないのでしょうか？
- ・P11、以前、学校給食の地元食材利用は、コーディネーターがいなければできないとのことだったが、コーディネーターを作ることでできるならぜひやったほうが良いと思う。

◆報告・予定(P16)

【良かった点】

- ・本部以外の分団に、初の女性団員誕生とのこと。ぜひ「町民の声を議会へ」に掲載をお願いしたいですね。
- ・議会だよりの創刊が平成10年4月ということがわかりました。
- ・議会の予定など、以前見かけなかった所までわかりやすくなっていました。

【改善点】

- ・自治会懇談会を予定とのことですが、30分~60分なので自治会役員などに限られ、主婦や女性、若い人の参加はないと思います。又、意見も出せないと思います。
- ・「あれどうなった」のコーナーをさらに充実してください。良い取り組みと思います。

◆モニター・町民の声(P17~P18)

【良かった点】

- ・ご縁食堂への取り組み、又、各ボランティアの皆様には本当にご苦労様の一言です。

【改善点】

- ・「町や議会に望むこと」として記載されていましたが、この様な活動場所にご議員さんにもぜひ、ご参加いただいて参加者の皆さんの声を直接聴いていただきたい。
- ・町民にこんな声があると知っていただく機会となったと思いますが、議員さんは検討して、ひろってくれるのでしょうか？モニターから出た意見は、「町の方へ伝えときます」で終わりがな。今後も広くモニターを募集し行政や議会に関心を持つ人を増やして欲しい。

◆全体の印象

【良かった点】

- ・全てにわたって、一目瞭然で良いと思いました。
- ・表紙としては見やすさ読みやすさにいつも努力していると思ひ、好感がもてます。

【ご意見】

- ・町民の声P18、地域の福祉が社協の使命だと思ひます。今までの事業も大切だが介護保険事業は多くの事業所ができているので、在宅福祉に町は予算をしっかりと付けてほしい。
- ・ページ数の関係か各記事が短い印象。

◆特集について(ご意見・今後取り上げてほしい内容など)

【ご意見】

- ・地震、災害への意識や情報等、私たちも含め町としての対応が少々希薄に感じています。(危機管理体制)防災に関する内容をテーマに取り上げていただきたい。
- ・定例会も大切だが臨時会も急遽の招集で行う会なので、この様な特集も必要。
- ・100号記念、今後1年、5年、10年後どのような町にしていきますか？町民、役場、議会などの思い。

◆広報誌についてのご意見・ご要望

- ・号を増すごとに、写真も適所に配置され良い。又、議員さんお一人お一人がそれぞれにアピールする姿勢に好感が持てました。
- ・議会だよりといえば、堅苦しいイメージですが、誌面の表紙がやわらかな感じを受けました。
- ・若い世代より、年配の方が町の事や町政の事を知りたと思うので、少しでも見やすくわかりやすい広報誌にしてほしいと思ひます。

◆議会に対してのご意見・ご要望

- ・予定されている自治会懇談会の際に、ひとりの声でも伝えてもらえるように「あなたのひとこと」アンケートを提出してもらうことはどうでしょうか？
- ・町民の目線で意見を町へ伝え、町民の疑問に思っている事、不満に感じている事を行政へ伝え、適切な答えを伝えてほしいと思ひます。
- ・質問が尻切れトンボみたいな印象があります。質問について最後まで町に聞ききれないのでは。



第100号に対するご意見や、町へのご要望は…

左のQRコードを読み込んでいただくとアンケートの画面になりますので町民の皆様の声をお聞かせください。

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆様取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は「いいじま健康マルシェ」を開催した「いいじま森の会」会長福田^{ひさのり}富穂さんに登場いただきました。

森と人を繋ぐ「いいじま健康マルシェ」

“森の息吹と健康パワーで心と身体をリフレッシュしよう！”をテーマに町民の森において「いいじま健康マルシェ」を初めて開催しました。

観光スポットとしての「町民の森」や「傘山」のPRと合わせ、森を活用し「健康」をテーマにした10種類のプログラム体験です。傘山トレッキング・ポールウォーキング・マウンテンバイク・ツリークライミング、健康体操をはじめ森ヨガ・アロマクラフト・イヤリフレなどの癒し・クロモジを活用した森カフェとワークショップ・森の音楽会で内面からも健康づくりをする総合企画です。

町内外から100名を超える参加者で賑わいました。参加者からは『森の中でとても気持ち良く

癒された』・『初めて町民の森に来たがとても良いところ』・『森の中の音楽演奏が良かった』・『木登りが楽しかった』等の感想が聞かれました。また、町外の有識者からも高い評価をいただきました。

森の持つ魅力は町の中では味わえません。森の健康効果として、森林浴で免疫機能が上がることも分かってきています。そしてストレスホルモンが減少し、高血圧の低下や抗がんタンパク質の増加などの効果が期待されています。

林業が廃れ、荒廃する森が増えましたが、森を整備・再生することでSDGsにも貢献できます。このような状況下で森は今までにない新たな総合的な活用や可能性が期待されています。



近年、町民の森を登山口とする傘山の人気は驚くほど伸び、町内外から年間推定数千人が登山に訪れており、経済面でも大きな産業につながる事が期待されます。今回の企画が今後の新たな森の活用や森を見直すきっかけになることを期待しています。

町や議会に望むこと

森を整備すると人が森に入り易くなります。森と人が繋がることで森が生き返り、人も健康の増進が図れます。林業面での担い手不足の課題もありますが、町なか中心の事業だけでなく森にも目を向け、見直すことで新たな町の活性化も見えてくると思います。



議会だより クイズ



〈問題〉

本誌は〇〇〇号

ヒントは
2,3ページ

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

(締切は11/30、発表は発送をもってかえさせていただきます)

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

発行責任者／議長 折山 誠 編集委員／◎片桐・○久保島・浜田・吉川・星野・堀内

あなたの声を議会だより ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail: iijima-gikai@cek.ne.jp